

がくしゅう  
タブレット学習をはじめる前に

まえ  
かていよ  
(ご家庭でお読みください)



よっかいちしきょういくいいんかい  
四日市市教育委員会

なまえ  
名前



# はじめに

これからの予測困難な時代を生きていく子どもたちは、自ら課題を見つけ、自ら考え、判断して行動し、豊かな人生を切り拓いていかなければなりません。そして、社会の変化に対応できる「生きる力」を身につけていく必要があります。タブレットは、それらを学び、身につけていくための重要なツール（道具）です。タブレットを使えば、学習内容が視覚的に理解しやすくなるだけでなく、簡単に友だちと考えを共有でき、深めることができます。このように正しく活用すれば、高い学習効果を得られますが、間違った使い方をすると、トラブルにつながる可能性もあります。このガイドブックをお子さまと一緒にご覧いただき、安全かつ効果的に利用してください。

## 目次

【1】 基本的なやくそくをきちんと確認しましょう	.....	1
【2】 学校や家でタブレットを使うときのやくそく	.....	2
タブレットでつきたい力／使用場所について		
やくそく1 先生や家の人に聞いてから使おう		
やくそく2 インターネット上で話すのは知っている人だけにしよう		
やくそく3 子どもが見てもいいところだけ見よう		
【3】 保護者の方へ ～メディアバランスを考えましょう～	.....	3
1. タブレットを（学習以外に）使わない時間と場所をつくる		
2. 家族の約束を明確にする		
3. 一緒に使って学ぶ		
4. 子どもがさまざまな健康的な体験を知ることができる機会をつくる		
【4】 タブレットを使うときのやくそくを決めよう	.....	4

# 【1】 基本的なやくそくをきちんと確認しましょう

子どもたちは、これから本格的に始まるタブレットを活用した学習に期待し、ワクワクしていることだと思います。タブレットを使うということは、情報化社会への一歩を踏み出すということです。タブレットを活用した学習を始める前に、基本的なやくそくや注意しなければならないことなどを、お子さまと一緒に確認してください。

## どうしてタブレットを使うの？

日常の学びや創作活動（作曲する、絵を描く、動画を作る、など）に使うためです。いろいろな場面で積極的に使っていきます。

## 大切に使う！

タブレットはこわれやすいものです。みんなが普段から、どんどん使っているように、大切に扱います。

## インターネットは可能性の扉！

インターネットを活用することで、できることが広がります。善き使い手となるために、やくそくを守って使います。

## 家の人としっかり話し合おう！

やっていいことと、いけないことを決めておきます。困ったときは大人に相談することも覚えておきます。

## 【保護者の方へ】

タブレット学習を始める前に、次ページから記載の「やくそく」を確認していただければと思います。また、タブレットは壊れやすいものでもあります。（故意による破損や紛失があった場合、修理費などをご家庭に負担していただくこともあります。）大切に扱うように、学習を始める前にしっかりお話をしてください。

## 【2】 学校や家でタブレットを使うときのやくそく

### タブレットでつきたい力

タブレットを活用して、以下の資質・能力の育成を図ります。

- 🏠 学びに向かう力、人間性等
- 🏠 知識及び技能
- 🏠 思考力、判断力、表現力等

### 使用場所について

- ★ 基本的には学校で使います。校外学習などで、校外に持ち出して使うこともあります。
- ★ 緊急時など、場合によっては家庭に持ち帰って使うこともあります。

### やくそく

1

### 先生や家の人に聞いてから使おう

まずは、タブレットを使っていい場所や時間帯などを先生や家の人としっかり話し合っ決めて決めます。また、どう使っていけば学習の役に立つのか、使い方などもきちんと考えます。



### やくそく

2

### インターネット上で話すのは知っている人だけにしよう

インターネットは、上手に使うことで学習の可能性を広げることができます。上手に使うためにも、パスワードや個人情報（名前や住所など）の管理をしっかりします。



### やくそく

3

### 子どもが見てもいいところだけ見よう

インターネットを使っていて、あやしいサイトに入ってしまったら、おかしい画面になってしまったりしたら、先生や家の人に知らせます。



### 【3】 保護者の方へ ～メディアバランスを考えましょう～

子どもたちがタブレットなどのICT機器を扱う場合、「利用時間」をルールとして決めることが多々あります。しかし、本当に大切なことは、時間ではなく行動と結びつけ、「何をしているときは使わないか」と「生活の中での優先順位」を考えることではないでしょうか。よくありがちな「守りにくいルール」で子どもに負荷をかけたり、約束が守れなくても子どもを責めたりしないようにしてください。

バランスのとれたメディア生活を送るには、「保護者は子どもを信頼し関心をもって見守ること」、「非スクリーン（ICT機器を使用しない）での文化的、身体的な体験と家庭内でのコミュニケーションをもつこと」が重要です。

保護者のなすべき役割と、子どもたちが自己管理できる善き使い手になるために必要な約束として、以下のものをぜひ参考にしてください。

#### 1. タブレットを（学習以外に）使わない時間と場所をつくる

寝室、勉強時間、夕食時などにタブレットを使う時間を制限することで、子どもたちがデジタル端末から離れられるようにします。

#### 2. 家族の約束を明確にする

どのようなメディアや技術を使用してもよいか、いつ使用してもよいかを一緒に決めてください。家庭内のメディア計画は、全員の意見を一致させておきます。

#### 3. 一緒に使って学ぶ

子どもと一緒に使って学べるように、年齢に合った質の高いメディアやコンテンツを選んでください。

#### 4. 子どもがさまざまな健康的な体験を知ることができる機会をつくる

スクリーンと非スクリーンの活動の中で、できるだけ身体的、感覚的、文化的な体験ができる機会をつくってください。

タブレットを使用する上で気をつけることについては、お子さまに配付した「タブレット端末操作ガイドブック」のP1、2に示させていただきました。お子さまと一緒にご覧いただき、正しいタブレットの使い方についてご確認ください。

## 【4】タブレットを使うときのやくそくを決めよう

タブレットを家に持ち帰ったときは、下のことを家の人と確かめてから使います。

タブレットを正しく使うと、どんな良いことがあると思いますか？

自分で利用を一休みできるようにするための工夫

タブレットを使うときのやくそく

①

②

③

家の人から



## おわりに

アイシーティー はってん だれ かんたん さまざま サービスやコンテンツを 利用 できるようになりました。これからの子どもたちに求められているものは、そうした環境の中で、本当に必要なものを自ら取捨選択して成長していく力です。だからこそ私たち大人は、子どもたちの成長を見守り、段階に応じたサポートをしていく必要があります。

タブレットを使った新しい学びが、未来社会を生きる子どもたちの成長の一助になれば幸いです。

れいわ ねん がつ よっ かいち しきょういく いんかい  
令和3年4月 四日市市 教育委員会

## 引用・参考資料

■ さかもとしゅん は が たかひろ とよぶくしんべい いまとたまみ はやしかずま ちょ  
坂本 旬・芳賀高洋・豊福晋平・今度珠美・林一真【著】

「デジタル・シティズンシップ コンピュータ1人1台時代の善き使い手をめざす学び」  
ひとりいちだい しだい よ つか て いちじよ まな

がくしゅう まえ  
タブレット学習をはじめる前に

---

はっ こう れいわ ねん がつ  
発行 令和3年4月  
はっこうしゃ よっ かいち しきょういく いんかい  
発行者 四日市市教育委員会

〒 510-0085 み え けんよっ かいち し す わ ちょう ばん こう  
三重県四日市市諏訪町2番2号

でんわ  
電話 / (059) 354-8149 FAX / (059) 359-0280

E-mail / [kyouikushien@city.yokkaichi.mie.jp](mailto:kyouikushien@city.yokkaichi.mie.jp)

---